

教科名	国語	単位数	2単位	学科・学年	普通科 2年 長大進学
教科書名	新編古典B 改訂版			出版社名	大修館書店
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	古典への興味・関心を喚起させるために、古典という言語文化を正しく継承し、現代に活かす態度を育てる。古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	古典事項を理解する。 わが国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯に渡って古典に親しむ態度、人生を豊かにする態度を育てる。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。				
成績評価	定期考査、小テスト、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

## 授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	一寸法師	<ul style="list-style-type: none"> <li>おとぎ話で知っている「一寸法師」と教材の「一寸法師」との共通点、相違点に気づかせる。</li> <li>和歌や会話の混じった文体に注意して、音読に工夫する。</li> </ul>	●			●
5	かぐや姫の昇天	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を正しく読解して登場人物の心情を理解する。</li> <li>登場人物の言動を通して、古人のものの見方や考え方をとらえる。</li> <li>『竹取物語』の文学史上の位置について理解する。</li> </ul>	●			●
6	丹波に出雲といふ所あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話の多様な文章構成を味わう。</li> <li>作者の考えを想像して、文章の意図を幅をもってとらえる。</li> <li>作者の人間心理に対する物の見方や感じ方、考え方を理解させ、豊かな心情を育てる。</li> </ul>	●		●	●
7	中納言参りたまひて	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮廷生活の様子を理解する。</li> <li>中宮をめぐる人間関係を理解する。</li> <li>筆者の機知あふれる対応を読み取る。</li> <li>敬語表現を理解する。</li> </ul>	●		●	●
9	雪のいと高う降りたるを	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮廷生活の一コマを味わう。</li> <li>筆者の機知を読み取ると同時に、中宮が筆者のよき理解者であったことを理解する。</li> <li>自然観照や人間観察の鋭さに触れる。</li> <li>筆者の機敏な対応に対する人々の賞賛がこめられている点を理解する。</li> </ul>	●	●	●	●

10	漁夫利	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「故事成語」の生まれた由来を確認し、一般的な意味を正しく理解する。</li> <li>・ 故事成語について関心を持ち、出典や語義について調べる。</li> <li>・ 文法的基礎知識を理解する。</li> <li>・ 中国史の概要について理解する。</li> <li>・ 「十八史略」についてあらましを理解する。</li> <li>・ 郭隗の巧みな説得の仕方を考察する。</li> </ul>	●			●		
11	あづま下り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音読によって文章のリズムをつかむ。</li> <li>・ 語り手が都から視点で語っていることを理解する。</li> <li>・ 主人公の心情や情景描写との関連を十分に捉えるようにする。</li> </ul>	●		●	●		
12	虎の借る狐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 故事成語の本来の意味を理解し、現代における意味や用法を習得する。</li> <li>・ 中国古典に由来する語句が現代用語に多く用いられていることを再認識し、日本文化と中国文化との関係について考える</li> </ul>	●		●	●		
1	虎の借る狐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 故事成語の叙述のおもしろさを味わう。</li> <li>・ 漢文訓読に習熟させる。</li> </ul>	●		●	●		
2	門出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国司の交代、旅立ちの風習そして当時の旅の困難さを理解させる。</li> <li>・ 女性に仮託した点や場所や人物がぼかされた表現になっている虚構性を学ぶ。</li> </ul>	●		●	●		
3	四面楚歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢と楚の興亡の忠実を学ぶとともに、作者の文学的描写を味わう。</li> <li>・ 文中のあらゆる句形について文法の力を養う。</li> </ul>	●		●	●		
<p><b>【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難しい語句や表現は古語辞典で調べる習慣をつけましょう。</li> <li>・ 文語文法を理解し、自分で現代の言葉に訳ができるようになりましょう。</li> <li>・ 定期的に行われる試験には積極的に取り組みましょう。</li> </ul>								